

コード	401040502
記入日:	H22.6.11

課コード	116
課名	水産課
課長名	太田均
担当者	古木文雄

事務事業事後評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	フォークリフト購入事業費補助事業
----------	------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40104	基本事業名称	漁業経営近代化の推進	目コード	2
事務事業コード	4010405	事務事業名称	新世紀水産業育成事業補助金費	細目コード	857
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町水産業振興奨励事業補助金交付要綱		

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	漁協	(対象指標1)	1漁協			
(対象2)	漁業者	(対象指標2)	200名			
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	上五島町漁協のフォークリフト3台を 購入する事業補助	*****	*****	*****	補助金交付件数1 件÷補助金交付件 数1件	*****
		①	補助金交付件数	1件	100%	平成21年度
		(達成率分析)	フォークリフト3台の完成を確認し、額の確定を行った。			
		*****	*****	*****	*****	*****
		②	(達成率分析)			
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
	フォークリフト3台を買い換えることにより、マグロ養殖等の冷凍餌の安定した 供給につながる。	*****	*****	*****	3台÷3台	*****
		①	フォークリフト購入	3台	100%	平成21年度
		(達成率分析)	計画どおりフォークリフトの購入が完了した。			
		*****	*****	*****	*****	*****
		②	(達成率分析)			

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 21 ~ H 21		平成20年度以前	平成21年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 件	1.0	1.0		1.0	1.0
	②					
成果指標	① 台	3.0	3.0		3.0	3.0
	②					
総事業費C (A+B)		千円	4,034	3,350	4,034	3,350
直接事業費 A		千円	3,334	2,650	3,334	2,650
人件費 B		千円	700	700	700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円	3,334	2,650	3,334	2,650
	その他	千円				
一般財源		千円	700	700	700	700

コード 401040502

評価(CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 漁業協同組合が事業主体となる施設整備であることから、組合員に対する利便性の向上につながるため、必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 漁獲物の流通体制を構築するためにもフォークリフトの購入は必要があった。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 漁獲物の流通体制を構築するために目的は適正である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 フォークリフトの購入により流通体制の効率化が図られた。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 効果を最大限に発揮するため、必要最大限の規模とした。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 漁獲物の鮮度保持に影響し、魚価安につながる可能性がある。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 類似事業が無いため
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 必要最低限の事業費としており、削減は出来ない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 事業実施のための必要最低限の人員であり、削減は出来ない。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 補助要綱に沿った適正な負担をしている。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 現在のところ、計画を見直す必要は無い。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 なし
2次評価	漁協の運営に資する事業で水産業の振興を図るもの。引き続き漁協に対する補助については、十分協議の上適正に執行すること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。